

# 2002 / 年報

平成 14 年度

No.10

山形県立うきたむ風土記の丘考古資料館



## はじめに

本館は、1993年4月に開館されました。今年は、10周年にあたります。

その間に、県立では県内唯一の埋蔵文化財や考古学の専門の資料館として、展示はもとよりのことですが、講演会や各種講座、「縄文まつり」や体験教室など、いろいろのユニークな事業を展開してまいりました。お陰をもちまして県内外より一定の評価をいただいております。

今後も日々新たな創造をめざし、地域にねざした資料館として、他の博物館や風土記の丘の動向に学び、多くの方々の文化的ニーズに敏感に対応するとともに、文化財や考古学の普及・発展に寄与していく所存でございます。

今年度の本館の事業を中心に、活動を総括いたしましたので、ご高覧いただき、今後ともよろしくご指導賜れば幸いです。

2003年3月

山形県立うきたむ風土記の丘考古資料館  
館長 川崎利夫

# 目 次

1. 施設 の 概 要 .....	1
2. 開館後のあゆみ .....	2
3. 展 示 の 概 要 .....	4
(1) 常設展示及びテーマ展示	
(2) 第4回特別展	
4. 教 育 普 及 活 動 .....	6
(1) 公開講演会・縄文トーク	
(2) 体験教室	
(3) 遺跡研修	
(4) うきたむ縄文まつり	
(5) 第四期「考古学セミナー」	
(6) 発掘調査検討会	
(7) 学校教育との連携	
(8) 学芸員実習	
(9) 「うきたむ考古の会」の事業	
5. 資 料 の 活 用 .....	12
(1) 資料貸出	
(2) 写真利用	
(3) 博物館資料の特別利用	
(4) 刊行物一覧	
6. 入 館 状 況 .....	13
(1) 月別入館者一覧表	
(2) 主な入館団体一覧	
(3) 来観者アンケート	
7. 管 理 及 び 運 営 .....	15
(1) 組織・職員	
(2) 運営協議会	
8. 受 贈 資 料 ・ 図 書 .....	17
9. 日 誌 抄 .....	22
10. 利 用 案 内 .....	23

# 1. 施設 の 概 要

## (1) 設置の趣旨

山形県立うきたむ風土記の丘考古資料館は、本県にとっての歴史上重要な古代の遺跡に関する資料の収集、保管及び展示を行うとともに、風土記の丘の中心として設置するものである。

## (2) 沿 革

昭和51年度 第6次山形県総合開発計画及び第2次山形県教育振興計画において、風土記の丘（歴史公園）建設構想提示

昭和56年度 風土記の丘実態調査を実施し、候補予定地は、高島町の洞窟遺跡群を中心とする置賜地域が適当と報告

昭和60年度 第7次山形県総合開発計画及び第3次山形県教育振興計画において、候補地区を高島町を中心とする置賜地区に位置付け

昭和61年度 風土記の丘基本構想・計画を作成

平成2年度 考古資料館の基本・実施設計を作成

平成3年度 高島町町有地を借用し、考古資料館本体工事着工、展示工事着工

平成4年度 考古資料館建物本体・展示工事完成、考古資料館外構工事・植栽工事施工、名称を「うきたむ風土記の丘考古資料館」に決定

平成5年度 考古資料館開館 4月23日

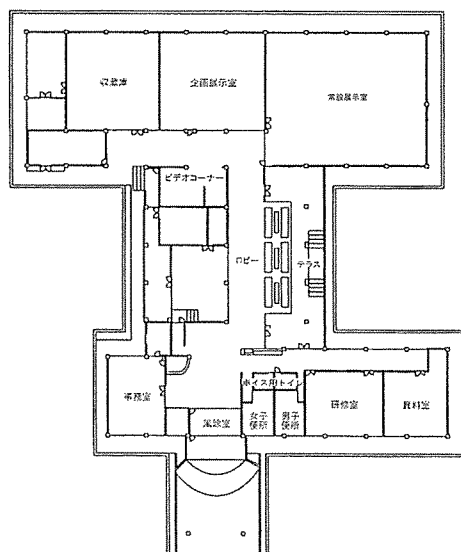
## (3) 施 設

### ① 構造・規模

鉄筋コンクリート造平屋建 敷地面積：7,000㎡ 延床面積：1,358.24㎡

常設展示室	279.00㎡	事務室	67.50㎡
企画展示室	129.37㎡	作業室・荷解室	51.75㎡
収蔵庫(2層)	129.37㎡	ロビー・ホール	336.85㎡
研修室	125.70㎡	その他(機械室等)	238.70㎡

[山形県立うきたむ風土記の丘考古資料館平面図]



## 2. 開館後のあゆみ

- 平成5年度 開館記念行事・記念講演「考古資料館に期待すること」文化庁 田中 琢氏  
第1回特別展「縄文の四季」  
シンポジウム「祈りとたたかいの中世」  
第1回収蔵品展「押出遺跡とその周辺」  
第1回企画展「古墳と人々の暮らし」  
講演会「末期古墳がつくられたころ」福島大学 工藤 雅樹氏  
第2回収蔵品展「最近発掘された置賜の遺跡から」  
平成5年度入館者 15,379名
- 平成6年度 第2回企画展「一ノ坂遺跡と巨大住居」  
講演会「東北・北陸の巨大住居が意味するもの」  
秋田県埋文センター 富樫 泰時氏  
第3回収蔵品展「平地と山地の縄文遺跡」  
第1期やさしい考古学入門講座  
「縄文時代の人々と文化」日本考古学協会会員 佐藤鎮雄氏 他10回  
第3回企画展「発掘された中世—まじないと祈りの世界—」  
講演会「中尊寺金色堂の視線」東北大学 入間田 宣夫氏  
第4回収蔵品展「古代の村と暮らし」  
平成6年度入館者 7,696名
- 平成7年度 開館3周年記念特別展「よみがえる縄文文化」  
講演会「三内丸山遺跡と東北の縄文文化」青森県教育委員会 岡田 康博氏  
第5回収蔵品展「高島の古墳時代」  
第2期やさしい考古学入門講座「日本のやきものの流れ」  
「縄文草創期・早期」山形県埋文センター 佐々木 洋治氏 他10回  
うきたむ考古の会設立  
第4回企画展「やまがた古代の役所」  
味噌根窯跡の発掘調査（～12月上旬）  
講演会「古代出羽の役所」酒田市教育委員会 小野 忍氏  
東北中世考古学会 設立総会  
第6回収蔵品展「置賜のやきものの移りかわり」  
平成7年度入館者 7,957名
- 平成8年度 第5回企画展「古代の窯業遺跡」  
講演会「古代の窯業遺跡」国立歴史民俗博物館 吉岡 康暢氏  
第3期やさしい考古学入門講座「遺跡発掘最前線～遺跡を掘るⅠ」  
「弥生時代の遺跡を掘る」山形県埋文センター 佐藤 庄一氏 他10回  
第7回収蔵品展「縄文の四季」  
東北中世考古学会  
第3回特別展「縄文のタイムカプセル押出遺跡展」  
講演会「縄文文化と現代」国立歴史民俗博物館 佐原 真氏  
第8回収蔵品展「土器のうつりかわり」  
平成8年度入館者 8,242名
- 平成9年度 第6回企画展「縄文の花開いて～一ノ坂・台ノ上遺跡～」  
テーマ展「考古資料からみた古代・中世」（企画展期間を除く）

講演会「古代出羽の都」 酒田中央高校 佐藤 禎宏氏  
講演会「縄文文化の魅力」 國學院大学 小林 達雄氏  
第4期やさしい考古学入門講座「遺跡発掘最前線～遺跡を掘るⅡ」  
「大型住居跡を掘る」 米沢市教育委員会 手塚 孝氏他5回  
平成9年度入館者 6,906名

**平成10年度** 第7回企画展「やまがたの弥生文化－水田稲作の始まり－」  
テーマ展「古代・中世の考古資料」（企画展期間を除く）  
考古学入門講座「中世の考古学」  
「奥羽の中世世界」山形大学 伊藤 清郎氏他5回  
講演会「東北の弥生文化－その成立と展開－」東北大学 須藤 隆氏  
平成10年度入館者 12,499名

**平成11年度** 第8回企画展「やまがたの古墳とその時代」  
テーマ展「古代・中世の考古資料」（企画展期間を除く）  
考古学セミナー「やまがたの古墳とその時代」  
「古墳時代の集落」山形県立博物館 阿部 明彦氏他5回  
講演会「日本の中の山形の古墳」 明治大学 大塚 初重氏  
置賜地区遺跡発掘調査報告会  
平成11年度入館者 9,807名

**平成12年度** 第9回企画展「縄文時代・最後の世界」  
テーマ展「古代・中世の考古資料」（企画展期間を除く）  
考古学セミナー「奈良・平安の考古学」  
「飛鳥時代の東北」 福島県教育委員会 木本 元治氏他5回  
講演会「縄文文化の最後の世界～東北・北陸の縄文晩期の文化」  
明治大学 石川 日出志氏  
2000年山形の発掘〈調査報告会〉  
平成12年度入館者 10,160名

**平成13年度** 第10回企画展「発掘された山形の城館跡」  
テーマ展「古代・中世の考古資料」（企画展期間を除く）  
考古学セミナー「城館跡の考古学」  
「城館跡を歩き楽しむ」 中世城郭研究会 横山 勝栄氏他5回  
講演会「奥羽における城館跡」山形大学 伊藤 清郎氏  
2001年山形の発掘〈調査報告会〉  
平成13年度入館者 9,556名

#### これまでの教育普及活動

体験教室 ・土器作り ・けつ状耳飾り作り ・縄文住居作り  
・土面、土笛作り ・編み物作り ・土偶作り  
・釣り針づくり ・弓矢、投げ槍体験 ・石器作り  
・縄文料理 ・勾玉づくり ・火起こしほか  
イベント ・縄文まつり（体験教室と縄文料理）  
遺跡訪問 ・青森県津軽地方 ・岩手県江刺地方 ・福島県会津地方  
・栃木県両毛地方 ・福島県いわき地方・福島県白河地方  
・毎春秋に近隣市町の遺跡を巡検

### 3. 展 示 の 概 要

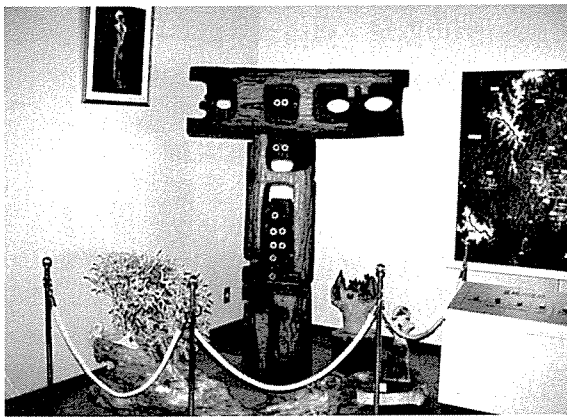
#### (1) 常設展示室及びテーマ展示

ロビーに飯豊町上屋地や小国町岩井沢・東山・湯の花遺跡などから出土した後期旧石器から晩期旧石器までの石器が展示されている。入館者が最初に目にする場面であるが壁面イラストとともにほとんど開館当初と変わらない。しかし、昨年度前期旧石器に関する記述は削除した。

常設展示室は「大谷地をかこむ遺跡」「縄文時代のタイムカプセル」「古墳をつくる人々」の三部構成で、主として置賜地区を中心とした原始・古代の特徴的な資料を展示し、地域の古代文化と生活をおおまかに把握できるようになっている。縄文草創期の洞窟遺跡・押出遺跡における低湿地の遺物・高島周辺の横穴式古墳が中心となっている。ジオラマも押出遺跡のくらしを表現している。

10年を経過した今日、新たな資料のもとによりわかりやすい展示をめざし、抜本的な見直しが課題である。これまでも時折個々の資料については、入れ替えを試みてきたが、説明・キャプション・写真資料もふくめ、でき得る限りでの改変が望まれる。

企画展示室においては、企画展が行なわれていない時期に「古代・中世の考古資料」をテーマとして、古墳時代、奈良・平安時代、中世までの資料を展示してきたが、中世の資料が少ないのが難点であり、その充実をはかることが必要である。将来は中世を中心に近世の資料も視野にいて、新しい考古資料への関心をうながすような展示を考えていきたい。いずれにしても常時公開している中世・テーマ展示をより充実していくことが課題であろう。



受付コーナーの  
鈴木 実氏作「門」



押出遺跡の展示コーナー  
常設展示室



## (2) 第4回特別展

- ・テーマ 「やまがたの縄文土器」
- ・期間 2002年10月1日～11月30日

開館10周年にあたり、これまでの本館のあゆみにふさわしいテーマにより特別展を開催した。いま、縄文時代に多くの関心が集められ、その見直しがすすめられつつあるが、本県の代表的な縄文土器を一堂に展示し、それを生み出した社会的背景にも目をむけることをねらいとした。

土器の出現から縄文の終末まで、時期別に7つの小テーマを設定し、1万年にわたるその推移がたどれるように展示した。テーマは、1、土器の出現と最初の土器、2、とがり底の土器とさまざまな文様、3、多様な縄目もよりの展開、4、力みなぎる盛期の土器、5、すり消し縄文の流行、6、華麗に飾られた最後の土器、7、弥生時代に引きつがれた伝統。(財)山形県埋蔵文化財センターをはじめ、県内9機関や個人より142点の貴重な土器や土偶を拝借し、テーマにしたがって展示し、それらに関連する写真や説明パネルを壁面に掲げた。

開期中は、県内外から多くの来館者があり、関西や長野からわざわざ訪れた研究者の方もおられた。特に草創期の土器片群、水木田遺跡や台ノ上遺跡などの雄大豪壮な中期の土器、晩期の玉川遺跡の土偶や宮の前遺跡の精巧華麗な土器群が多くの人々の目をひいた。

なお、後でも触れるが期間中、講演会と縄文トークが開催された他、図録「やまがたの縄文土器」も発刊された。



特別展 展示状況



羽黒町玉川遺跡出土の  
座産土偶(玉川寺所蔵)

## 4. 教育普及活動

### (1) 公開講演会・縄文トーク

11月17日(日)

受講者 100名

第4回特別展公開講演会「やまがたの縄文土器」

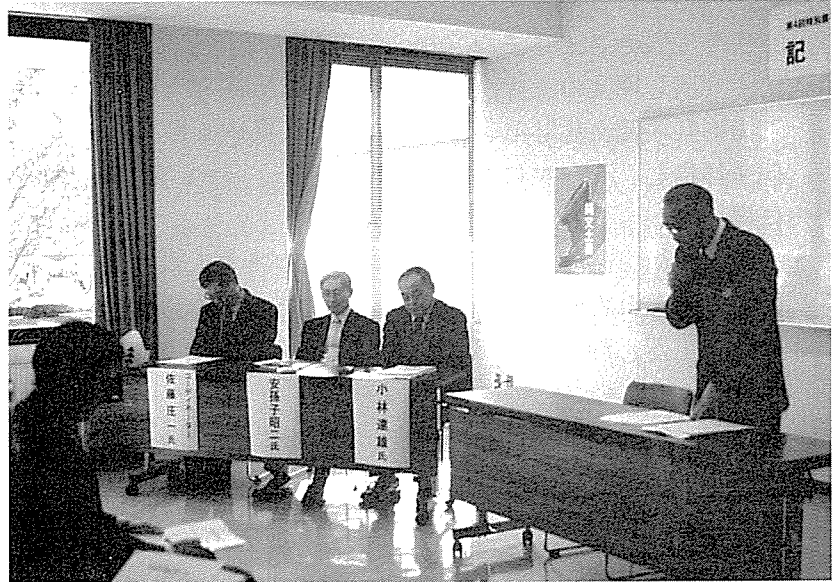
基調講演

講師 國學院大学 小林達雄 氏

東京都教育庁 安孫子昭二 氏

縄文トーク 講師と会場が一体となり、豊かな縄文談義を展開した。

基調講演録を、考古の会誌「うきたむ考古8号」に掲載予定。



公開講演会・縄文トーク

### (2) 体験教室

① 勾玉づくり 7月21日(日) 15名参加

資料館の展示を見学のあと、滑石を材料に勾玉を作った。子どもの参加が多かった。

② 縄文土器をつくろう-野焼きのための焼物教室-

形づくり 8月17・18日(土・日) 4名参加

共催 南陽市立梨郷中学校 7月28日(日) 15名参加

野焼き 10月27日(日) 15名

本年度は、形づくりの日を2日間設定して開催した。野焼きは、10月27日に行った。また、野焼きの講師としてうきたむ考古の会長谷部優氏(米沢市)に、協力していただき土器を完成させた。

③ 編み布を編もう-縄文手芸教室-

11月24日(日) 参加者 5名

押出遺跡出土の編み布片を観察後、麻紐と綿紐を素材として簡単な編み方で作成。講師として一條美意子氏(福島市)、うきたむ考古の会鈴木恵美子氏(中山町)にご協力いただき、糸よりや編み方の技法についてご指導をいただいた。

#### ④ 赤ちゃん手形・足形づくり

4月20日より5月6日まで 参加者 100名

縄文時代に、子どもの健やかな成長を願って作られたと考えられる赤ちゃんの手形・足形土製品を、親子で楽しんで再現することを目的に実施した。2年目の開催となった今年は、短期間にかかわらず、多くの参加があった。また、県内出土の手形資料を(財)山形県埋蔵文化財センターより借用し、多くの方に目に触れていただくことができた。

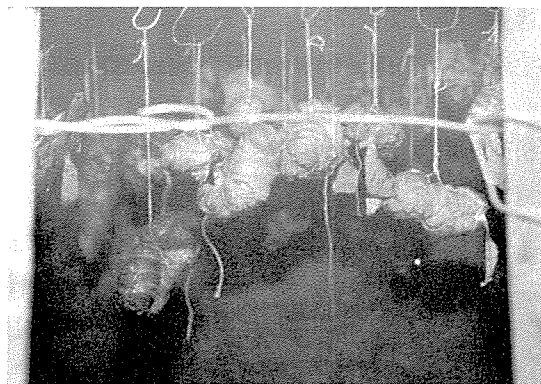


赤ちゃん手形・足形づくり

#### ⑤ 古代食まつり

2月16日(日) 参加者 50名

原始・古代時代の食事を考え、学び、味わうことを目的に開催した。特に今年は、歴史公園内で燻製づくりを行い、イノシシ、クマ、エゾシカ、キジ、カモ等を材料に燻製づくりを行なうとともに大いに味わった。古代食まつりの成功と共に燻製づくりについての知識や経験が得られ、今後の活用も期待できた。



古代食まつり

### (3) 遺跡研修

#### ① 春の遺跡めぐり

6月1日(土) 参加者 27名

山形市山寺根本中堂、峰の裏岩窟遺跡、三宝岡風立寺などを訪ねた。山岳宗教、石造文化財に関する学習を深めた。県埋文センター渋谷純子氏の協力も得て、充実した見学を行なうことができた。



春の遺跡めぐり

② 秋の遺跡めぐり

10月13日(日) 参加者 28名

多賀城市東北歴史博物館にて開催された「飛鳥・藤原京展」の見学と、仙台市内の遺跡を見学した。

「飛鳥・藤原京展」では、国宝から精密なジオラマまで古代宮都の雰囲気満喫した。仙台市では遠見塚古墳、陸奥国分寺を見学した。

(4) うきたむ縄文まつり

9月22日に開催 参加者 400名

縄文時代のくらし・遊び・祭りを体験しながら、縄文人のおおらかな生き方を感じることをテーマに「まほろば古の里歴史公園」を会場に開催された。今年度は、高島町の呼びかけによる「歴史公園まつり」の一環として「うきたむ縄文まつり」に参加した。昨年に引き続き、歴史公園管理組合・うきたむ考古の会・八幡神社



縄文まつり

文化財保存会・高島町観光協会、うきたむ風土記の丘考古資料館等を中心に実行委員会を組織し、事業の計画・準備・運営・後かたづけを行った。

○ 縄文体験 13:00~16:00

勾玉作り・編み布・弓矢作りを歴史公園考古資料館付近にて行った。

○ 大道芸公演 随時

○ 縄文の料理試食 17:30~19:00

縄文クッキー・黒米おこわを試食した。

○ 月見の宴 17:30~20:00

縄文太鼓(代表 金子俊郎氏)の演奏・歌・踊り

(5) 第四期「考古学セミナー」

平成11年度より「考古学セミナー」として開講し4回目を迎えた。考古学を楽しく学び歴史を正しく認識することを目的に、どなたにも開かれた学習の場として生涯学習に寄与することをねらいとし、5回にわたり実施した。

今回は、特別展の内容に合わせて、山形県における縄文土器研究をテーマとして開催、学習をした。特に縄文時代研究において注目される縄文土器出現期の問題、中期、後晩期にかけての問題は意義深いものであった。また、研究における近年の成果や縄文土器をめぐる逸話などを楽しく学んだ。受講者は47名、延べ180人であった。

○ 第一回 8月18日 『土器の出現と展開』 講師：山形県教育庁 渋谷 孝雄氏

○ 第二回 8月25日 『山形県における縄文時代研究の現状と課題』

講師：山形県教育庁 佐藤 庄一氏

○ 第三回 9月1日 『縄文土器の機能と用途』 講師：当館 川崎 利夫

○ 第四回 9月15日 『縄文後期から終末まで』

講師：(財)山形県埋蔵文化財センター 小林 圭一氏

○ 第五回 10月6日 『縄文時代最盛期の土器』

講師：(財)山形県埋蔵文化財センター 阿部 明彦氏

## (6) 発掘調査検討会

2002年置賜の発掘 調査検討会

2月23日(日) 参加者 50名

基調報告「2002年度山形県の発掘調査概要」山形県教育庁佐藤庄一氏ほか、昨年発掘調査された県内3遺跡の報告・検討、1研究報告について検討を行った。

## (7) 学校教育との連携

昨年度より、学校等の団体で入館を希望する場合に、来館の目的・展示説明や体験学習の有無・利用に際しての希望などを指示していただく「利用打ち合わせ書」の提出を依頼している。これにより、学校の求めるもの、当館の提供できるものの対話が円滑になり、結果として多くの児童生徒に体験学習や充実した見学を行うことができた。

また、利用後には「利用評価表」の記入を依頼し、改善点の指摘などを得た。

以下に利用の主な事例をあげる。

- 事例：①勾玉作り 人気があり、体験学習を希望した学校の大半が行った。
- ②火起こし 作業は大変だが、火を起こした達成感が思い出となる様である。
- ③縄文服 復元した縄文時代の衣服やアクセサリを貸し出して、見学・歴史公園散策・昼食の際に着用してもらった。数が限られるために少人数の場合に限られた。
- ④歴史公園ガイド 当館周辺の歴史公園内の復元住居や復元古墳、黒米等を栽培する棚田、安久津八幡方面までガイドをした。
- ⑤周辺遺跡ガイド 当館近郊の、一ノ沢・日向洞窟、金原・清水前古墳、高畠石（凝灰岩で古墳などに利用）の石切り場の巡見に同行し、現地でガイドを行った。

従来の社会科学習、地域の学習、クラブ活動のみならず、今年度より始まった「総合的な学習」をめぐって学校・教員、生徒・児童等様々な立場から資料館が利用されるようになった。原始時代の生活体験や古代米づくり等に関する情報を提供、体験学習用具や資料の貸出し、相談事業等を行った。電話での相談も受け付けた。

利用方法が多様化する一方、学校での社会科見学等が減少し、生徒・児童の来館者数は減っている。学校週5日制に伴う授業数の減少が主な理由と考えられ、今後は関係機関との定期的な連絡調整の場の設置を試みたい。また、総合学習の相談事業を更に充実させるため、研究・職員の研修・資料の充実をはかっていきたい。

### 《総合学習への対応》

総合学習の一環で利用した学校は小学校1校、中学校3校である。課題の発見を目的として来館するケースが多く、展示・収蔵品の見学や体験学習を通して学習した。

#### 山辺町作谷沢小学校の場合

勾玉・アンギン・化石の3チームに分かれて学習しており、本館では主に勾玉・アンギンについて学習した。勾玉や縄文時代の布を見学した後、それぞれ講義や製作方法を学んだ。来館後は電話での質問にも対応した。総合学習の発表会では、様々な形の勾玉を作成したり、カラムシから繊維を採り簡単な布を編むまでの展示を行っており、講義で学んだ事をさらに発展させている様子が伺えた。来館以前に山形県立博物館、来館後に（財）山形県埋蔵文化財センターを見学しており、各機関相互の連携も必要と考える。



総合学習発表会の様子

### 《学校教育機関共催事業》

社会科学習のために来館した学校は、小学校10校、中学校2校である。

#### 南陽市梨郷中学校の場合 社会科体験学習

縄文土器作りを行った。事前に土器の写真等を見てもらい、各自作りたい土器を考えてもらった。施文具や文様のつけ方等を学習した後、事前に考えてきた土器の完成を目指して成形した。また、乾燥させた土器をもって野焼きの事業に参加し、縄文土器が完成するまでの流れを体験した。完成した土器は文化祭で発表したようである。



土器づくりを体験した皆さん

親子行事、遠足等で来館した学校は、小学校7校、中学校2校であった。今後は、この関連の来館者の増加が見込まれる。

## (8) 学芸員実習

実習期間は7月27日(土)から8月2日(金)までとし、東北芸術工科大学、米沢女子短期大学より各1名、計2名を受入れた。

実習内容は、資料館の概要・展示・発掘調査についての講義の他、体験学習(土器づくり)の準備や講師、収蔵資料の整理、ミニ押出遺跡展の準備等を実技として行った。また、館外実習として米沢市上杉博物館・米沢市台ノ上遺跡へ伺い、歴史資料の展示・収蔵や発掘調査についても学習した。

日誌などの感想からは、実物資料に触れながらの研修は良い経験になったと思われる。

## (9) 「うきたむ考古の会」の事業

### ◎ 考古の会総会及び講習 5月12日(日)

総会開催の後、資料館周辺遺跡散策を行った。

### ◎ 会誌「うきたむ考古」6号の発行

総54頁、昨年度特別講演会『縄文文化最後の世界』講師 明治大学教授 石川日出志氏の講演抄他、会員による論文などを、掲載。

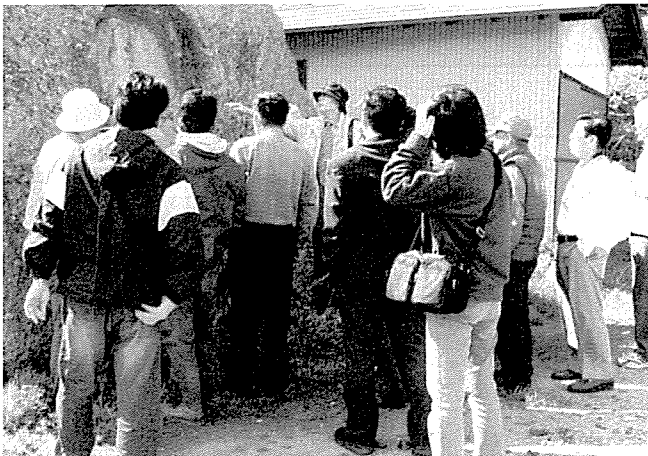
### ◎ 会員研修 ～みる・きく・ふれる遺跡の旅7～ 遺跡の宝庫白河を訪ねる の開催

6月22日～23日(土・日) 24名参加

### ◎ うきたむ縄文まつりの協力

役員をはじめとした数名の会員によって、縄文まつりの縄文体験コーナーの講師として協力。

### ◎ 自主事業「庄内の遺跡史跡めぐり」12月7日～8日(土・日) 11名参加



資料館周辺遺跡散策



みる・きく・ふれる遺跡の旅7

## 5. 資料の活用

### (1) 資料貸出

遺跡名	資料名	利用の理由	申請者	資料活用期間	備考
押出遺跡	彩漆土器、炭化食品、他 計108点	特別展「鳥浜貝塚とその時代」に出品	福井県立若狭歴史民俗資料館	15年9月3日～12月3日	
押出遺跡	彩漆土器 計3点	企画展「技と美の誕生」	山梨県立考古博物館	14年10月1日～12月5日	

### (2) 写真利用

利用資料	利用目的(印刷物等の名称)	利用者(発行者)	発行期日	部数
押出遺跡彩漆土器	自己研究発表	西中謙	未定	
押出遺跡彩漆土器他	展示、図録作成のため	山梨県立考古博物館	14年10月12日	10,000
押出遺跡彩漆土器他	展示、図録作成のため	福井県立若狭歴史民俗資料館	14年10月5日	5,000
押出遺跡彩漆土器、炭化食物	児童向け出版物(名称未定)	小川忠博(発行者福音館予定)	未定	未定
押出遺跡彩漆土器	福井新聞企画広報欄	福井新聞社	14年10月	
押出遺跡彩漆土器他	展示のため(東北と縄文展・東北電力)	(株)創童舎	14年11月	
山形市出土縄文土器他	「図説 山形市の歴史と文化」	山形市教育委員会	15年予定	未定
押出遺跡炭化食物	社会科資料集小学6年	(株)光文書院	15年3月	100,000
押出遺跡彩漆土器	雑誌 月刊MOKU	黙出版(株)	15年1月	50,000
押出遺跡炭化食物他	B S ジャパン「洋食のススメ」3月2日放送分	(株)スポーツパル・インターナショナル	15年2月	
押出遺跡出土品他	高島町屋代地区歴史マップ作り	同発行委員会	15年3月10日	1,500

### (3) 博物館資料の特別利用

利用日時	利用資料	利用目的	利用者
14年10月17日	常設展示資料他	研究のため	新潟県津南町教育委員会
14年10月20日	常設展示資料石器他	研究のため	金沢大学医学部 関昌家
14年11月5日	押出遺跡出土植物遺体(クリ、クルミ)	研究のため	名久井文明
14年10月25日	石器	研究のため	群馬県埋蔵文化財センター
14年11月7日	縄文土器	研究のため	青森市教育委員会 小野貴之
14年11月15日～16日、1月5日	収蔵資料縄文土器、弥生土器	卒業論文作成のため	明治大学佐藤裕輔
15年2月20日	押出遺跡彩漆土器他	教育研究資料作成のため	東海大山形中学校 野川淳
15年3月11日	押出遺跡彩漆土器他	研究のため	青森県史編纂室
14年3月12日	押出遺跡炭化食物他	図録作成のため	名古屋市博物館

### (4) 刊行物一覧

平成13年4月1日から平成14年3月31日までの刊行状況は下記のとおりです。

書名	発行日
館報うきたむ19号	平成14年5月20日
第4回特別展図録「やまがたの縄文土器」	平成14年10月1日
館報うきたむ20号	平成14年11月5日
考古資料館10年の歩み	平成15年1月19日



## 6. 入館状況

### (1) 月別入館者一覧表

月分	有料入館者数					無料入館者数					計	
	個人		団体		計	減免者数		視察その他		減免		計
	一般	児童等	一般	児童等		一般	児童等	一般	児童等			
4月	200	0	0	0	200	129	180	65	10	43	427	627
5月	241	8	54	0	303	435	327	5	0	60	827	1,130
6月	186	3	35	0	224	88	220	67	0	51	426	650
7月	184	4	20	0	208	49	154	8	0	122	333	541
8月	403	12	46	0	461	187	109	5	0	337	638	1,099
9月	161	6	117	27	311	275	813	67	5	39	1,199	1,510
10月	272	13	154	0	439	371	230	75	1	104	781	1,220
11月	118	16	73	0	207	126	73	23	6	10	238	445
12月	33	0	0	0	33	0	0	10	0	15	25	58
1月	15	0	0	0	15	9	0	22	0	4	35	50
2月	47	4	0	0	51	90	10	19	0	3	122	173
3月	74	6	0	0	80	2	2	11	0	45	60	140
合計	1,934	72	499	27	2,532	1,761	2,118	377	22	833	5,111	7,643

386.800 7200 1360 74850

### (2) 主な入館団体一覧

高島町立和田小学校、たかはた春まつり、米沢市立南原小学校、中山町立豊田小学校、宮城県立第1女子高等学校、高島町商工会中国研修生、山形市立滝山小学校、高島町立第1中学校、天童市立成生小学校、高島町立屋代小学校、高島町立高島小学校、中山町移動研修、高島町教育委員会校長会研修、高島町立屋代小学校、寒河江市郷土史講座、高島町立亀岡小学校、河北町北谷地地区公館、山形県立長井高等学校、高島町立高島小学校地域クラブ、米沢市教育研究所ガイダンス、高島町立糠野目小学校、東北芸術工科大学芸術学部歴史遺産学科、米沢市立愛宕小学校、南陽市立漆山小学校、山形市立高楯中学校、山形県町村教育長会、天童市立高箭小学校、飯豊町立中津川小学校、南陽市立荻小学校、川西町立東沢小学校、山形大学理学部、川西町特殊学級交流会、立川町公民館、高島町小学校3,4年生部会、天童市立長岡小学校、松山町資料館、鶴岡市湯田川小学校、置賜地区消防署長、消防団長研修会、おきたま観光協議会、小国町立玉川小学校、米沢市立窪田小学校、高島町農産物消費モニター研修、三川町公民館、立川町清川公民館、山形市立第10中学校、高島町屋代地区公民館、天童市立蔵増小学校、南陽市立梨郷小学校、朝日町立西部公民館、東置賜地区社会科主任研修会、山形市立小学校教頭会、丸森町公民館、庄内文化財保存会、天童市立田麦野小学校、山形市立南沼原小学校、南陽市立赤湯小学校、中山町公民館、山形県立米沢女子短期大学、米沢市立広幡小学校、高島町立糠野目小学校、高島町立二井宿小学校、南陽市立沖郷小学校、南陽市立赤湯中学校、山形県立高等学校図書部会置賜支部、寒河江市東部公民館

20名以上の団体（順不同）

### (3) 来館者アンケート

- ・北方との交流、国際的な視野の展示が欲しい。(山形県・60歳代男性)
- ・静かすぎる。(関東地方・40代男性)
- ・楽しかったので、また来たい。(置賜地方・10代女性)
- ・石器の働き、機能を明示して欲しい。全般的に創意的な展示で好感を持てる。(山口県・40代男性)
- ・動くものがあると良いと思う。(千葉県・20代女性)
- ・昔の人の生活をもっと易しいところから紹介して欲しい。土器が多くて、土器だけの昔みたいでした。(村山地方・男性)
- ・土偶が好きなので、もっと土偶を見たかった。(村山地方・10歳代男性)
- ・ものだけの展示はいささか退屈である。もう一工夫を。(村山地方・40歳代男性)
- ・土器に触れてうれしかった。(神奈川県・10歳代女性)
- ・縄文時代は詳しかったけれど、弥生時代はもっと詳しくして欲しい。(北海道・10歳代女性)
- ・勾玉、作りたいです。(千葉県・20歳代女性)
- ・ていねいなパネルの作り方でした。特別展のパネルも楽しかった。(置賜地方・30代女性)
- ・大きな縄文土器を見てびっくりしました。きれいなものもびっくりしました(庄内地方・70代女性)
- ・体験学習が面白そう。(島根県・40歳代男性)

#### 体験学習等の参加者から

##### ○ 赤ちゃん手形作り

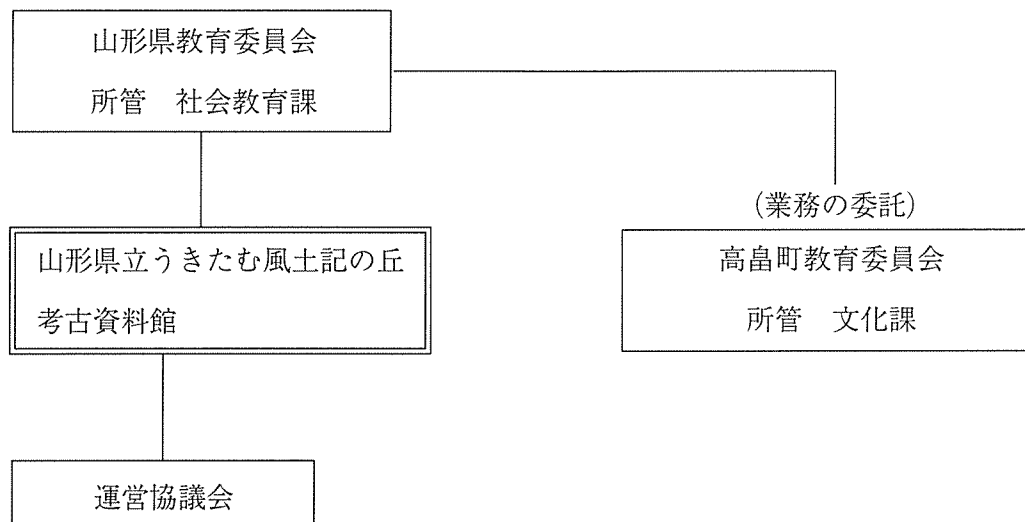
- ・手形作りに参加しました。親切にしてくださいたいへん助かりました。良い記念になりました。(村山地方・20代女性)
- ・子どもの成長を残せて、とてもいいことだと思います。(置賜地方・20代女性)

##### ○ 勾玉作り

- ・初めて勾玉を作って勉強になりました。昔の人の気持ちを色々知ることができました。また、このような機会があれば参加したいです。(山形市・10代女性)
- ・また、勾玉を作らせてください。(高島町・10代女性)

## 7. 管理及び運営

### (1) 組織・職員



[本館運営協議会委員名簿]

氏名	備考
安彦好重	山形県文化財保護協会会長
村野隆男	米沢市教育委員会文化課長
沓澤晋作	財団法人山形県埋蔵文化財センター専務理事
佐藤鎮雄	高畠町立高畠小学校長
前田みゆき	高畠町立第一中学校教頭
山崎正	高畠町郷土資料館長
吉野智雄	上山市立図書館長 県文化財保護指導員

委員長 吉野 智雄  
副委員長 安彦 好重

山形県立うきたむ風土記の丘考古資料館 職員名簿

職名	氏名	備考
館長(嘱託)	川崎利夫	非常勤
館長代理	金子貢司	
主事	大河原恵美子	
主事	小林貴宏	
嘱託	竹田純子	学芸員
臨時職員	木村博子	臨時職員

(2) 運営協議会

第1回 開催期日 10月17日 本館研修室

- 会議内容
- (1) 平成13年度考古資料館事業報告
  - (2) 平成14年度考古資料館事業状況報告
  - (3) その他

第2回 開催期日 2月28日 本館研修室

- 会議内容
- (1) 平成14年度考古資料館事業報告
  - (2) 平成15年度考古資料館事業計画
  - (3) その他

## 8. 受贈資料・図書

(平成14年4月～平成15年2月)

本年度寄贈を受けた考古資料は以下のとおりである

寄 贈 者	品 名	数 量	受贈月日
東根市 太田 浩 雅	東根市蟹沢遺跡出土注口土器	1	6月12日
東根市 太田 浩 雅	東根市蟹沢遺跡出土壺形土器	1	10月26日

### 年報

年報類	名 称	発 行 者
1	浦幌町立博物館年報 第2号	浦幌町立博物館
2	年報 Vol.17	苫小牧市博物館
3	史跡三内丸山遺跡年報 5	青森県教育委員会
4	青森県立郷土館報 第29号	青森県立郷土館
5	一関市博物館年報 第3号	一関市博物館
6	平泉文化研究年報 第2号	岩手県教育委員会
7	年報 平成13年度	岩手県立博物館
8	地底の森ミュージアム年報 第6号	仙台市歴史文化事業団 仙台市宮沢遺跡保存館
9	仙台市博物館年報 第29号	仙台市博物館
10	多賀城市埋蔵文化財調査センター年報平成13年度	多賀城市埋蔵文化財調査センター
11	東北歴史博物館年報 平成13年度	東北歴史博物館
12	年報 20	秋田県埋蔵文化財センター
13	秋田県立博物館年報 平成14年度	秋田県立博物館
14	山形県立博物館報 平成13年度	山形県立博物館
15	山形県埋蔵文化財発掘調査報告会平成14年度	山形県埋蔵文化財センター
16	年報 平成13年度	山形埋蔵文化財センター
17	館報 第5号	浜田広介記念館
18	米沢市上杉博物館年報Vol.13	米沢市教育委員会
19	齋藤茂吉記念館年報17	齋藤茂吉記念館
20	埋もれていた中世のまち 第7回市内遺跡発掘調査成果展	郡山市教育委員会
21	玉里村立史料館報 第7号	玉里村立史料館
22	年報 第9号	栃木県教育委員会
23	しもつけ風土記の丘資料館年報第16号	栃木県教育委員会
24	埋蔵文化財センター年報 第11号 第12号	とちぎ生涯学習文化財団 埋蔵文化財センター
25	年報 20	群馬県埋蔵文化財調査事業団
26	国立歴史民俗博物館要覧 2002	国立歴史民俗博物館
27	市立市川考古博物館年報 第27号 第28号	市立市川考古博物館
28	松戸市立博物館年報 第8,9号	松戸市立博物館
29	房総風土記の丘年報23	千葉県立房総風土記の丘
30	(財)千葉県文化財調査協会年報11 12 13	千葉県文化財調査協会
31	東京都埋蔵文化財センター年報21,22	東京都埋蔵文化財センター
32	江戸東京博物館要覧 2002	東京都江戸東京博物館
33	年報 平成12年度	横浜市歴史博物館
34	年報 No3,4	長野県立歴史館

35	新潟県立歴史博物館年報 1	新潟県立歴史博物館
36	長岡市立科学博物館報81	長岡市立科学博物館
37	年報 11	富山県立山博物館
38	館報 平成13年度	福井県立若狭歴史民俗資料館
39	岐阜県博物館報 第25号	岐阜県博物館
40	名古屋市見晴台考古資料館年報19	名古屋市見晴台考古資料館
41	リトルワールド年報 第24号	野外民俗博物館リトルワールド
42	年報 平成13年度	滋賀県立安土城考古博物館
43	園部文化博物館報 第2号	園部文化博物館
44	年報 第21号	みよし風土記の丘歴史民俗資料館
45	年報18	広島県埋蔵文化財調査センター
46	年報 平成13年度	愛媛県歴史文化博物館
47	高知県立歴史民俗資料館年報 No.11	高知県立歴史民俗資料館
48	下関市立考古博物館年報7	下関市立考古博物館
49	九州歴史資料館年報 平成13年度	九州歴史資料館
50	佐賀県文化財年報 5,6	佐賀県教育庁文化財課
51	年報 No31	佐賀県立博物館・美術館
52	みやざき歴史文化館年報 平成13年度	みやざき歴史文化館
53	宮崎県総合博物館年報 第31号	宮崎県総合博物館
54	東北大学埋蔵文化財調査年報 17	東北大学埋蔵文化財調査研究センター
55	明治大学博物館年報2000年度	明治大学博物館事務室
56	立正博物館学講座年報 第4号	立正大学博物館学講座

## 図録

1	縄文アクセサリー	浦幌町立博物館
2	写真にみる気仙Ⅱ 昭和前半	大船渡市立博物館
3	20世紀のくらし展	北上市立博物館
4	修験道資料展	北上市立博物館
5	絵図にみる江戸時代の一閃	一閃市博物館
6	むかしの道具 こどものもちもの	一閃市博物館
7	東北発掘ものがたり	東北歴史博物館
8	観光旅行 大正～昭和初期のツーリズム	東北歴史博物館
9	2万～1万年前の道具 東日本の石器デザイン	仙台市富沢遺跡保存館
10	機と布	秋田県立博物館
11	縄文人と巨大木柱	長井市古代の丘資料館
12	おもて 大塚亮治の面	米沢市上杉博物館
13	青の継承 福王寺法林 福王寺一彦	米沢市上杉博物館
14	かたちと色 桜井祐一 土井文雄	米沢市上杉博物館
15	いにしへのロマン 米沢考古学のあゆみ	米沢市上杉博物館
16	まほろんガイド	福島県文化財センター白河館
17	弘法山のよこあな 古代ガラスと象嵌の世界	福島県文化財センター白河館
18	やきものの旅	霞ヶ浦町郷土資料館
19	霞ヶ浦の縄文土器	玉里村立資料館
20	律令国家の地方官衙 古代の役所Ⅱ	栃木県立しもつけ風土記の丘資料館
21	栃木の遺跡 最近の発掘調査の成果から	栃木県立なす風土記の丘資料館
22	縄文創生	群馬県立博物館
23	未来に残したい大地の神秘	埼玉県立自然史博物館
24	奥秩父の自然	埼玉県立自然史博物館
25	社寺境内図資料集成 1	国立歴史民俗博物館
26	古代日本 文字のある風景	国立歴史民俗博物館
27	男も女も装身具	国立歴史民俗博物館
28	季節の伝統植物	国立歴史民俗博物館
29	中世寺院の姿とくらし	国立歴史民俗博物館
30	槍の身振り	千葉県立房総風土記の丘

31	埴輪を造る 実験考古学の挑戦	早稲田大学會津八一記念博物館
32	化石芸術 古代生物の造・形・美	化石芸術展実行委員会
33	甦る大環濠集落	横浜市歴史博物館
34	東海道と保土ヶ谷宿	横浜市歴史博物館
35	東海道双六の世界	横浜市歴史博物館
36	屏風・絵巻に描かれた東海道	横浜市歴史博物館
37	中世の棟札	横浜市歴史博物館
38	中国四川省古代文物展	山梨県立考古博物館
39	技と美の誕生 名宝でつづる縄文文化	山梨県立考古博物館
40	中山道展	長野県立歴史館
41	世界と地域を見つめた長野県教育	長野県立歴史館
42	奥三面展	新潟県立歴史博物館
43	移民物語 弁当からミックスプレートへ	新潟県立歴史博物館
44	鳥浜貝塚とその時代	福井県立若狭歴史民俗資料館
45	なごやの遺跡 笠寺台地	名古屋市見晴台考古資料館
46	東海の古代	名古屋市博物館
47	あゆち潟の古代	名古屋市博物館
48	陸路・海路の考古学	滋賀県文化財保護協会
49	湖辺集落を読む 新守山川関連遺跡	滋賀県立安土城考古博物館
50	共に一女子を立て 卑弥呼政権の成立	滋賀県立安土城考古博物館
51	近江源氏と沙沙貴神社	滋賀県立安土城考古博物館
52	国芳の描く中山道	滋賀県立安土城考古博物館
53	初代園部藩主小出吉親	園部文化博物館
54	園部の大地 化石・宝石・岩石展	園部文化博物館
55	風と火と時と 中世丹後の考古資料	京都府立丹後郷土資料館
56	未盗掘古墳の世界	大阪府立近つ飛鳥博物館
57	大阪歴史博物館常設展示案内	大阪歴史博物館
58	外鎌山北麓古墳群の調査	桜井市立埋蔵文化財センター
59	風土記の丘30周年記念展	鳥根県立八雲立つ風土記の丘
60	広島酒文化	広島県立歴史民俗資料館
61	瀬戸内海を介した交流	下関市立考古博物館
62	昭和の街かど カメラがとらえた戦後松山	愛媛県歴史文化博物館
63	長宗我部元親・盛親の栄光と挫折	高知県立歴史民俗資料館
64	ふるさとのおもちゃ	高知県立歴史民俗資料館
65	歴史と美術	高知県立歴史民俗資料館
66	弥生都市はあったか	佐賀県立博物館

## 紀要

1	紀要 第2号	浦幌町立博物館
2	研究報告 第12号	苫小牧市博物館
3	イタカンロー第5回アイヌ語弁論大会報告書	アイヌ文化振興・研究推進機構
4	浪岡町文化財紀要 平成13年度	浪岡町教育委員会
5	調査研究年報 第26号	青森県立郷土館
6	青森県沿岸漁業調査報告書	青森県立郷土館
7	旧北川家住宅復原修理報告書	北上市教育委員会
8	岩手県立博物館研究報告書	岩手県立博物館
9	一関市博物館研究報告 第5号	一関市博物館
10	市民文化財研究員活動報告書6	仙台市富沢遺跡保存館
11	仙台市富沢遺跡保存館研究報告5	仙台市富沢遺跡保存館
12	仙台市博物館調査研究報告 第22号	仙台市博物館
13	東北歴史博物館研究紀要 3	東北歴史博物館
14	研究紀要第16号	秋田県埋蔵文化財センター
15	秋田県立博物館研究報告 第27号	秋田県立博物館
16	古墳から糸里へ 東根市西北平坦部の遺跡群	山形県文化財保護協会

17	第15回東北日本の旧石器文化を語る会 予稿集	東北日本の旧石器文化を語る会
18	修験道とその遺物	庄内文化財保存会 石田茂作
19	さあべい 第19号	さあべい同人会
20	第16回東北日本の旧石器文化を語る会 予稿集	東北日本の旧石器文化を語る会
21	山形考古 第5巻第1号	山形考古学会
22	研究紀要 第10号	とちぎ生涯学習文化財団埋蔵文化センター
23	黒曜石の流通をめぐる社会 前期の北関東・中部地域	同成社・大工原豊
24	南関東における縄文前期後半期の黒曜石石器群の流通	大工原豊
25	群馬県における縄文時代集落の諸様相	石坂茂・大工原豊
26	群馬県立歴史博物館紀要	群馬県立歴史博物館
27	縄文時代中期末葉の環状集落の崩壊と環状列石の出現	石坂茂
28	調査研究報告 第15号	埼玉県立さきたま資料館
29	貝塚博物館紀要 第29号	千葉市立加曽利貝塚博物館
30	加曽利貝塚人骨の総合調査	千葉市立加曽利貝塚博物館
31	松戸市立博物館紀要 第9号	松戸市立博物館
32	れきはくにいこうよ 教育プロジェクト活動報告	国立歴史民俗博物館
33	市川市出土の埴輪	市立市川考古博物館
34	「有樋尖頭器の発生・変遷・終焉」予稿集・記録集	千葉県立房総風土記の丘
35	国立歴史民俗博物館研究報告 第89集	国立歴史民俗博物館
36	早稲田大学會津八一記念博物館研究紀要第3号	早稲田大学會津八一記念博物館
37	MUSEUM 575,576,577,578	東京国立博物館
38	人類誌集報2001	東京都立大学人類誌調査グループ
39	火打ち道具の製作第14号	江戸東京博物館
40	明治大学博物館研究報告 第7号	明治大学博物館事務室
41	博物館学紀要第26輯	國學院大學博物館学研究室
42	紀要 第5号	横浜市歴史博物館
43	長野県立歴史館研究紀要第8号	長野県立歴史館
44	新潟県立歴史博物館研究紀要第3号	新潟県立歴史博物館
45	研究紀要 9	富山県立山博物館
46	岐阜県博物館調査研究報告 第23号	岐阜県博物館
47	名古屋市見晴台考古資料館研究紀要第4号	名古屋市見晴台考古資料館
48	リトルワールド研究報告 第18号	野外民俗博物館リトルワールド
49	紀要 第10号	滋賀県立安土城考古博物館
50	研究紀要 第8号	堺京都市埋蔵文化財研究所
51	考古学研究紀要 4	辰馬考古資料館
52	研究紀要 第3集	広島県立歴史民俗資料館
53	研究紀要 第6号	下関市立考古博物館
54	研究紀要 第7号	愛媛県歴史文化博物館
55	研究紀要 第11号	高知県立歴史民俗資料館
56	研究紀要3	大分県立歴史博物館
57	宮崎県総合博物館研究紀要 第23輯	宮崎県総合博物館

## 報告書

1	三内丸山遺跡 青森県埋蔵文化財調査報告書337,338	青森県教育委員会
2	小牧野遺跡 他4 青森市埋蔵文化財調査報告書60~64	青森市教育委員会
3	八重菊(1)遺跡 森田村緊急発掘調査報告書8	青森県森田村教育委員会
4	柳之御所遺跡 他1 岩手県文化財調査報告書111,113	岩手県教育委員会
5	甲子遺跡 他1 遠野市埋蔵文化財調査報告書11,13	遠野市教育委員会
6	名生館官衙遺跡 他1 古川市27,30	古川市教育委員会
7	上高森遺跡	上高森遺跡検証発掘調査団
8	諏訪遺跡 他14 秋田県文化財調査報告書326,328,330~341,343	秋田県教育委員会
9	秋田城跡 他1	秋田市教育委員会
10	上屋地遺跡 他1	山形県立博物館
11	上高田遺跡 他30 山形県埋蔵文化財センター調査報告書57,61,62,64~90	山形県埋蔵文化財センター
12	分布調査報告書(26~28) 山形県埋蔵文化財調査報告書200~202	山形県教育委員会



13	執行坂窯跡 2次 羽黒町埋蔵文化財調査報告書3	山形県羽黒町教育委員会
14	寒河江市内遺跡 (9) 寒河江市埋蔵文化財調査報告書23	寒河江市教育委員会
15	道伝遺跡 第2,3次 川西町埋蔵文化財調査報告書4,5	山形県川西町教育委員会
16	左沢楯山城遺跡 大江町埋蔵文化財調査報告書5	山形県大江町教育委員会
17	市内遺跡 他1 長井市埋蔵文化財調査報告書20,21	長井市教育委員会
18	市内遺跡分布(5) 他2 鶴岡市埋蔵文化財調査報告書17~19	鶴岡市教育委員会
19	西沼田遺跡 他1 天童市埋蔵文化財発掘調査報告書27,28	天童市教育委員会
20	八森遺跡 他1 八幡町埋蔵文化財調査報告書11,12	山形県八幡町教育委員会
21	米沢城南三の丸跡 他4 米沢市埋蔵文化財調査報告書9,76~79	米沢市教育委員会
22	置賜地域の終末期古墳 1 東北芸術工科大学考古学研究報告第1冊	東北芸術工科大学考古学研究室
23	下総塚古墳発掘調査報告書 第4次調査	白河市教育委員会
24	川股城遺跡発掘調査報告書 川俣町文化調査報告書第19集	福島県川俣町教育委員会
25	鹿島神宮駅北部他11冊 72,78,79,93,94,97~99,101,107,108,112	鹿嶋市文化スポーツ振興事業団
26	鹿島湖岸北部条里遺跡 他3 鹿島町の文化財 67,87~89	茨城県鹿島町教育委員会、鹿島町文化スポーツ振興事業団
27	厨台No3遺跡	茨城県鹿島町遺跡保護調査会
28	寺野東遺跡 他14 報告書244,248,250,252~254,259~266	栃木県教育委員会
29	陣場・庄司原古墳群 他5	群馬県富士見村教育委員会
30	多古町千田台遺跡他3千葉県文化財センター報告276,280,283,288	千葉県文化財センター
31	千葉市下田遺跡 他20	財団法人千葉市文化財調査協会
32	大山遺跡 他4 山武郡市文化財センター報告書23,70,73,76,78	山武郡市文化財センター
33	駒形台遺跡 山武町埋蔵文化財発掘調査報告書5	千葉県山武町教育委員会
34	多摩ニュータウン遺跡 他20 調査報告36,74,102~109,111~120,123	東京都埋蔵文化財センター
35	姥久保遺跡Ⅲ	東京都南部住宅建設事務所
36	日野駅北駐輪場建設 日野市埋蔵文化財発掘調査報告72	日野市遺跡調査会
37	横山東遺跡群 柏崎市埋蔵文化財調査報告書34	柏崎市教育委員会
38	小瀬が沢洞窟	長岡市立科学博物館・中村孝三郎著
39	町内遺跡確認試掘 他6 津南町文化財調査報告第35~41輯	新潟県津南町教育委員会
40	弁天島遺跡 他12	滋賀県教育委員会
41	谷遺跡 他3 草津市文化財調査報告43,45,47,48	草津市教育委員会
42	小田小塚本遺跡 他2 甘木市文化財調査報告書 第51~53集	甘木市教育委員会
43	切畑遺跡 他1 佐賀県文化財調査報告書116,128	佐賀県教育委員会

## 目録

1	仙台市博物館収蔵資料目録 11 浮世絵版画	仙台市博物館
2	落合計策 縄文時代遺物 国立歴史民俗博物館資料図録1	国立歴史民俗博物館
3	野村コレクション小袖屏風 国立歴史民俗博物館資料図録2	国立歴史民俗博物館
4	社寺境内図資料集成2国立歴史民俗博物館資料調査報告書12	国立歴史民俗博物館
5	長野県行政文書目録 行政簿冊 4	長野県立歴史館
6	琵琶湖博物館資料目録第6号 植物標本1 桑島正二植物標本目録	滋賀県立琵琶湖博物館
7	琵琶湖博物館資料目録第7号 昆虫標本2 トンボ類コレクション標本目録(2)	滋賀県立琵琶湖博物館
8	琵琶湖博物館資料目録第8号 図書資料1 逐次刊行物	滋賀県立琵琶湖博物館
9	江の川流域の漁撈用具	広島県立歴史民俗資料館
10	近代広告資料Ⅱ 愛媛県歴史文化博物館資料目録第9集	愛媛県歴史文化博物館
11	寺石正路関係資料目録 平成13年度収蔵資料目録第2集	高知県立歴史民俗資料館
12	伊東文庫目録	東北大学大学院文学研究科
13	明治大学博物館図書目録 2000年度版 第4号	明治大学博物館事務局

## 9. 日誌抄

- 4 / 1 辞令交付式
- 4 / 20 歴史公園春まつり 赤ちゃん手形作り開始 5 / 6まで 100名
- 5 / 5 子どもの日 無料入館日 (363名)
- 5 / 12 うきたむ考古の会総会 (19名)
- 5 / 20 うきたむ19号発行
- 6 / 1 春の遺跡めぐり 三宝岡～山寺～千手院 27名
- 6 / 19 中国からの留学生17名来館
- 6 / 22・23 みるきくふれる遺跡の旅 福島県白河・須賀川方面など (24名)
- 7 / 2 7 学芸員実習受け入れ 2名 8 / 2まで
- 8 / 7 国民文化祭を前にしての舟形町縄文体験講座 18名
- 8 / 18・19 縄文体験講座「縄文土器をつくろう」 4名
- 8 / 18 第4期考古学セミナー第1回 渋谷孝雄氏
- 8 / 25 第2回考古学セミナー 佐藤庄一氏
- 9 / 1 第3回考古学セミナー 川崎利夫氏
- 9 / 16 第4回考古学セミナー 小林圭一氏
- 9 / 22 うきたむ縄文まつり 400名
- 9 / 27～30 特別展展示資料搬入
- 10 / 1 第4回特別展「やまがたの縄文土器」開催
- 10 / 6 第5回考古学セミナー 阿部明彦氏
- 10 / 13 秋の遺跡めぐり 多賀城・仙台方面 28名
- 10 / 24 歴史公園で置賜地区植樹祭
- 11 / 3 文化の日無料入館日 55名
- 11 / 17 特別展記念講演会および縄文トーク 100名  
講師：小林達雄氏、安孫子昭二氏
- 11 / 24 体験教室「編布をつくろう」
- 2 / 16 古代食まつり 50名
- 2 / 23 置賜地区遺跡発掘検討会 60名
- 2 / 28 本館運営協議会

## 10. 利 用 案 内

- ◆ 交通案内 JR高島駅よりタクシーで15分  
JR高島駅より自転車で40分  
※高島駅にレンタサイクルがあり、「まほろばの緑道」のサイクリング道があります。
- ◆ 開館時間 4月1日～10月31日／AM 9：00～PM 4：30  
11月1日～3月31日／AM 9：30～PM 4：30
- ◆ 休館日 月曜日、国民の祝日  
(こどもの日と文化の日は、無料で開館します)  
年末年始(12月28日～1月4日まで)  
大型連休中は、臨時開館の場合があります。  
燻蒸作業等のため臨時休館の場合があります。
- ◆ 入館料金 一般200円(150円)、学生 {大学生以上} 100円(70円)  
小中高 無料  
( )は、20名以上の団体料金
- ◆ 入館料の減免 次ぎの基準により減免(無料入館)します。
  1. こどもの日、文化の日その他教育委員会が指定する日において資料館が主催する教育、学術及び文化の普及向上に資する行事に参加する者については入館料を免除する。
  2. 前項に規定する者のほか、入館料の減免を受けることができる者は、各号の一つに該当する者とする。
    - (1)教育課程に基づく教育活動として入館する児童、生徒、学生及びこれらの引率者
    - (2)その他教育委員会が公益上特に必要があると認める者※ 上記2の入館料の減免を受けようとする方は、入館減免申請書を考古資料館に提出してください。尚、詳細については、当館にお問い合わせください。
  - (3)身体障害者手帳、精神障害者保健福祉手帳及び療育手帳の交付を受けている者、その付添い人。
- ◆ 収蔵図書の利用  
資料館に収蔵されている図書(県内等の報告書、各地特別展図録、体験学習資料他)の閲覧等利用することが出来ます。図版や写真の多い資料もございますので、是非ご利用ください。  
利用時間、休館は考古資料館と同様です。図書資料のみのご利用には入館料はかかりません。詳しくは事務室までお問合せ下さい。

## 考古資料館利用の手引き

考古資料館では、小学生から社会人の方までを対象とした様々な学習活動のお手伝いをしております。ご希望の際は、下記項目及び後記打合せ書をご参考に、当館まで事前にご相談ください（ただし、諸般の事情によりご要望に添えない場合もございます）。

- ◆ 展示説明 当館職員が展示をご説明します。また、実物の資料、復元品に触れたり、収蔵しているパネルを使ってのご説明もいたします。
- ◆ 歴史公園を歩く 当館を含む「まほろば古の里歴史公園」内には、復元された古墳や竪穴住居、雑穀の畑などが整備されており、こちらをご案内します。
- ◆ 遺跡案内 当館周辺には、日向洞窟（国史跡）や清水前古墳、金原古墳など多くの遺跡があります。こちらを現地でご案内します。
- ◆ 体験学習 古代の技術を体験し、当時の人々の生活を学ぶこともできます（メニュー参照）。その他体験したいことがございましたら、ご相談に応じます。

メニュー	内 容	所要時間	人数	材料費
勾 玉 つ くり	滑石という柔らかい石で勾玉を作ります。	2 時間	40名	100円
火 お こ し	ひもぎり式という摩擦を利用した古代以来の方法で、火を起こします。	30分	30名	無料
弓 矢 つ くり	竹を利用して、弓矢を作ります。	2 時間	10名	100円
土器・土偶・土笛 づくり	市販の粘土を野焼き用に調整し、形を作り、縄文の模様などをつけて、野焼きします。	延べ2日 (成形日・野 焼き日)	20名	500円
編み布 (あんぎん) づくり	古代以来の編み具を使って、10cm四方程度の編み布 (コースター) を作ります。	2 時間	10名	100円

(目安として)

# 県立考古資料館利用打合せ書

この度は、当館をご利用いただきましてありがとうございます。当館の利用につきまして下記の打合せ書を当館までいただきますよう、よろしくおねがいたします。

利用団体名			
学 年	年	引率者・代表者	
人 数	大人 小人	名 名	
日時・所要時間	月	日	: ~ :
実施内容	遠足・社会科見学・総合的な学習・クラブ活動・親子行事・PTA行事・その他( )		
来館のねらい			
説明	館内・歴史公園内・近隣史跡(日向洞窟・金原古墳ほか)		
職員の説明の際に強調を希望する点	無・有(旧石器・縄文・弥生・古墳・古代中世・学校近辺の遺跡・当館周辺の遺跡・洞窟遺跡・押出遺跡)		
使いたい資料	無・有(実物・パネル等・復元縄文衣服・その他{ })		
研修室利用	希望しない・希望する(学習のため・雨天時昼食のため)		
利用にあたって希望すること(体験学習等)	体験: 勾玉づくり・火おこし等		
交通手段	貸切バス・路線バス・自家用車・レンタサイクル・徒歩・その他( )		
当日に利用する他の施設・史跡等			

\* 日程表・開催概要等がございましたら、こちらも送付ください。

山形県立うきたむ風土記の丘考古資料館 〒992-0302 東置賜郡高島町大字安久津2117  
TEL 0238-52-2585 FAX 0238-52-4665

# 2002 / 年報

平成15年（2003年）3月31日 印刷・発行

編集発行 〒992-0302

山形県東置賜郡高畠町大字安久津2117

山形県立うきたむ風土記の丘考古資料館

TEL 0238(52)2585

FAX 0238(52)4665

アドレス:122@town.takahata.yamagata.jp

印刷 (有)高畠印刷

